

## 様式第2号(第7条関係)

## 会 議 録

会 議 の 名 称		令和4年度 第3回川島町小中一貫教育推進協議会
開 催 日 時		令和5年2月15日(水)午後3時30分~午後4時30分
開 催 場 所		川島町役場 2階 大会議室
議 題		1 会議の公開について 2 会議録及び会議署名委員の指名について 3 川島町における小中一貫教育の目標について
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	【1号委員】 菊地昭男 【2号委員】 鈴木和也、柳澤睦夫、山崎清美、 藤田由美子、市川俊実、佐藤香織、 高橋昌史、原 一芳、小林義知、 加藤早苗、佐藤優也 【3号委員】 佐藤宏美 【4号委員】 永島 智 【5号委員】 天宮 弘、小林紀子
	事務局職員	中村教育長、鈴木教育総務課長、鎌田指導主事、 山崎指導主事、関口学校統合・学校教育指導幹 指田主査、木村主任
配 布 資 料		・小中一貫教育の目標(案)
<p>1 開会 今回、オブザーバーとして、川島町教育委員会委員の今井教育長職務代理者、猪鼻委員に参加いただていることを説明</p> <p>2 あいさつ 市川会長(川島町小中一貫教育推進協議会会長) 中村教育長</p> <p>3 議事 (1) 会議の公開について 公開することに決定。</p> <p>(2) 会議録及び会議署名委員の指名について 藤田委員(2号委員)と高橋委員(2号委員)の2人を指名。</p>		

### (3) 川島町における小中一貫教育の目標について

令和7年度から開校を予定している小中一貫教育校の目標について、「地域とともに 学び・育ち・はばたく 子どもの育成」を掲げます。小中一貫教育は、学校を核とした地域・町づくりの理念の基、保護者・地域の方々と目標を共有し協力を得ながら、子ども達の成長を図ります。

また、目指す児童生徒像として、「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる川島っ子」を掲げ、知・徳・体にわたり「生きる力」を子ども達に育むことを目指します。さらに、目指す教師像として4項目を掲げ、学校教育目標に向かい、学校が運営されるようにします。

最後に、小中一貫教育の目標グラウンドデザイン（案）についての説明も行いました。なお、説明終了後に、委員との質疑応答（※）を行い、小中一貫教育の目標（案）のとおり決定しました。

#### 【委員の質疑、意見】

Q) 委員：「目指す教師像」にある「個性と学びを伸ばす教師」の「学びを伸ばす」という文言ですが、学びに向かう、支援する、引き出すという文言の方が分かりやすいかと思いましたが、意見をさせていただきました。

A) 事務局：埼玉県学力学習状況調査の最大の特徴として、経年変化という捉え方があります。学年が上がり、状況が変わった際に、学力がどの程度伸びるかという考え方で、それも参考に、「学びを伸ばす」という文言にした経緯があります。

議事終了後、1号委員で学識経験者である菊地委員（元城山学園校長）に全体を通しての意見をいただきました。

#### 【菊地委員による意見】

- ・令和7年度を目途とした小中一貫教育校の目標について、よく検討を重ねた中で、設定されたことが見受けられました。
- ・小中一貫教育校の学校教育目標は、中学校では一般的に中学生に分かる目標とし、小学校では、中学校の目標を小学生が分かりやすい表現にして、目標を設定していました。
- ・小中一貫教育を進めていく中で、目標があることは、今後の学校運営の指針にもなり、児童生徒の学力や生きる力を育成するために重要になると思います。
- ・小中一貫教育が始まれば、小中学校の先生との交流や研究も深まります。また、施設分離型でも授業の交流はできると思いますので、今後も検討をしていただければと思います。

### 5 閉 会

佐藤副会長（川島町小中一貫教育推進協議会副会長）

署	名	藤田由美子	
		高橋昌史	